

歴史的な生活・町家から学ぶ ーならまちー

歴史的町並みの保存・再生実践講座Ⅰ（キャリアデザイン・ゼミナールB03、住環境学フィールド演習Ⅰ）

◆目的・概要

奈良女子大学奈良町セミナーハウスを拠点として、歴史的町並み・伝統的町家に関する調査手法を身につけるとともに、住民の方へのヒアリングなどを行い、周辺地域の現状を把握、資源を発掘することを目的としています。

本年度は「世界遺産と地域計画」とも共同で、元興寺周辺の建物や町並みに関する調査を行いました。また、奈良町セミナーハウスが立地する毘沙門町と隣接する十輪院町の歴史や祭りに関して文献を調査したり、実際に祭りにも参加するなどして、周辺の住民の方、祭りの参加者などへのヒアリング調査を行いました。

◆スケジュール

日程	内容
7月	祭りへの参加、踏査 住民の方へのヒアリング調査、文献調査 調査結果を持ち寄り、ワークショップによる取りまとめ 住民の方を交えた成果発表
8月	レポート提出

◆取組成果

建物や町並み調査では、道路や格子、壁、店など要素を取り上げ、毘沙門町、十輪院町周辺の特徴を把握しました。近年、古い町家を利用した店が多く、また新しい建物でも外観を町並みに合わせたものが増えていることが分かりました。壁に着目すると、元興寺の西側は主に土壁が多く、東側は白漆喰壁が多く見られました。

また、文献などで、町や祭りの歴史について調査を行い、町名が毘沙門像や寺院と関連があることなどを把握するほか、7月中旬に開催される毘沙門町と十輪院町共催の夏祭り「毘沙門天祭」には、実際に祭りに参加し、参加者にヒアリング調査を行いました。祭りの由来や、祭りに使われる護摩木の供養方法、同時に行われるくじ引きや輪投げなどのイベントの運営に関して話を聞き、祭りについては、運営側の人手不足、来客数の減少などの課題があることがわかりました。

ワークショップにより調査結果を取りまとめ、住民の方を招いた成果発表会をセミナーハウスで開催しました。

◆今後に向けて

本年度の活動を通じて、地域の皆さんとの交流ができました。これをきっかけに、地域資源の発掘、課題の抽出などに取り組んでいく予定です。また、活動の拠点として、セミナーハウスを積極的に活用していきます。

◆関連科目

居住文化景観論、建築・住居史、建築一般構造学、建築装備学Ⅰ
住環境計画学、都市計画学Ⅰ、測量学、設計演習Ⅳ

※次年度から歴史的町並みの保存・再生実践講座ⅠとⅡは統合し「歴史的町並みの保存・再生実践講座」（後期）になります。



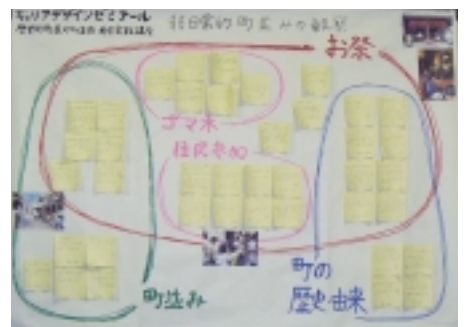
ならまち調査



祭りに関するヒアリング



祭りの様子



調査結果の取りまとめ



住民の方を招いた成果発表会